

2025年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

No.	講義名	氏名	教員コメント
29	建築施工	小笠原 健	この「建築施工」の講義は、一級建築士5科目および二級建築士4科目のうちの一つとなる施工分野に位置し、本学建築学科の必修科目として、建築学を学ぶうえで、重要な主要科目である。また、1級建築施工管理技士試験に挑戦する場合には、この講義の役割は不可欠である。この講義では、特別に制作したテキストを配布し、その章ごとの講義後には小テストを行う、実践的な講義内容としている。建築学科の学生である以上は、資格取得に挑戦するか否かを問わず、最低限の知識を身に付ける必要があり、日常講義での小テストならびに定期試験による結果により、単位認定を行い、ある程度の学力が認められない場合には単位不認定としている。今年の卒業生で、一級建築士および二級建築士の一次試験（学科試験）の結果では、それぞれ1名との申し結果となっており、この講義の講義レベルは最低維持したいと考えている。受講学生の中には、国家資格の取得を目指す学生も存在しており、実践型講義に特色を持つ学生もいることは承知しているが、建築学科の学生である以上は一定のスキル修得が必須であり、建築系先への就職を考える限りは、必ず、何らかの資格取得を求められることから、今後とも同スタイルの講義を追求していくつもりである。これにより、昨年度の1級建築施工管理技士補試験では、全国で初めて大学在学生3名が合格し、新聞報道されている。また、今年度も18名の本学受験者のうち16名が合格見込みとなっており、この講義の実績と効果は立証済みである。
30	簿記論	岩立 顕一郎	簿記論は企業の活動を把握するうえで不可欠なものです。企業にしてお金にしても初めて聞く内容ばかりで多くの方が戸惑われたのではないのでしょうか。それでもわからないなりに講義に参加し、プリントを眺め、テキストに目を通すことで、少しずつでもイメージが持てた様子が伝わってきました。これから、簿記論で学んだ基礎知識を活かして、経営の本質を学ぶことになると思います。ぜひこれからの学びも楽しんで頂ければと思います。
31	経営組織論	猪尾 紀幸	本講義は、まだ経営学に慣れ親しんでいない1年生が主に受講することを意識し、出来るだけ理解しやすい用語、説明を心がけて行いました。また組織論は、これまでの学校生活、部活動、アルバイトなどの経験から組織・チーム活動のイメージしやすい部分もあると、それらを事例や例題として取り上げより理解しやすいよう講義を進めました。ただ、1学年のQ2ということもあり、まだ学習への意欲、定期試験への準備に不十分さを感じる学生が多く見受けられたので、次年度はそのことについても指導・助言を強化していきます。
32	社会福祉の原理と政策Ⅱ	上原 正希	全ての項目で多くの「充分満足できた」と解答をいただきました。しかし下記のようなコメントもありました。「もう少しゆっくり話してほしい」、「言葉遣いが悪い」の点については注意します。また「普段使わない堅苦しい文章を分かりやすく、先生が解説してくれたので、メモも書きやすかった」、「ここ国家試験に出ると言ってくれるのでありがたいです」は引き続き実施していきます。引き続き努力していきます。
33	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	櫻井 美帆子	反応の良い受講生が多くて、とても授業がやりやすかったです。挨拶も元気で気持ちよく授業ができ感謝です。内容はできるだけシンプルにしたつもりなので詳細を知りたい、又は忘れたという方は改めて解説をしますので、遠慮なくお声がけください。
34	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	大島 康雄	ソーシャルワークはクライアントとの関係性を構築していく専門技術です。実際の場面を見せながら今後もイメージできるように授業を行いたいと思います。
35	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	近藤 亜弥	授業お疲れ様でした。たくさんの方にアンケートに答えていただきありがとうございます。補講の欠席は、評価に影響していませんのでここで説明させていただきます。また、資料については、白黒印刷しできないため、team内でアップしています。皆さんがみやすく、使いやすいくまで印刷してください。授業中、真剣に聞いていただき、メモをたくさんしている姿をみて感銘を受けました。法律名や疾患が出てきて難しい内容とは思いますが、臨床での実体験も含めて時に楽しく説明をしていけたらと精進して参ります。
36	精神保健福祉の原理Ⅱ	西野 克俊	授業の満足度については、満足できた以上が96%となっており、一定以上ご満足いただけたのかと思います。コメントにおいて、中間試験の実施希望などもあるため、検討したいと思います。今後もし引き続き満足いただける授業展開をしたいと思っております。
37	保育者論	吉江 幸子	「保育者論」の受講、ありがとうございます。保育専攻以外の学生も参加していてグループワークでは交流も含め活気がありました。評価はどの項目も、「とても適切73% 充分適切20% 適切7%」が多かったです。授業への興味・関心が高かったことから、授業満足度で80%の学生が「とても満足」との回答につながったと感じています。保育・児童福祉の法律や倫理綱領は暗記できるものですが、その意味を理解し倫理性に基づく保育の実践はそれぞれの資質・能力の向上に委ねられるものです。保育への理解を深める1年目ですので、後期で実際に子どもたちと触れ合いながら基礎から応用へとゆっくり学び続けましょう。
38	肢体不自由者の心理・生理・病理	坂上 俊樹	すべての学生から、授業内容に興味・関心を持ち理解できたとの回答をいただいたことありがとうございます。その一方で、時間配分や話し方に課題ありとのこと意見もいただいておりますので、今後改善するよう努めたいと思っております。
39	聴覚障害教育総論	室岡 弘明	多くの受講生の皆さんに授業内容を理解してもらえたようで安心しました。今後は、聴覚障害教育の経験談や視覚的教材をもっと多くして興味や関心が高まるように講義をしていきたいと思っております。また、受講生の授業後レポートについて次回講義で講評し、フィードバックを多くしていきます。
40	精神保健福祉援助演習Ⅱ	上原・大島	SSTのロールプレイを行いました。「ロールプレイや意見を言える場があったのでみんなの考えを共有できたし、どうやって支援をしていく必要があるのかのプロセスを学べました」が良かったようなので、引き続き実施していきたいと思います。
41	子どもの食と栄養	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂きました。来年度は全員から「とても適切だった。」と評価を頂ける様心掛けたいと存じます。
42	知的障害教育Ⅱ	藤根 収	授業については比較的良い評価をいただきました。少人数の授業ですが、アットホームに授業を進められるよう工夫いたしました。今後とも学生と対話的な実りある授業づくりのために努力してまいりたいと考えます。
43	病弱教育	千葉 聡美	受講者が少なかったため一人一人と対話しながら授業を進めることができた。毎回授業に関するテーマで短いレポート提出を求めたが、日によって講義時間が押してしまい、学生にレポートを書く時間を与えられないことがあった。10分程度は残すように講義内容を整理したい。
44	社会思想史	後藤 啓倫	社会思想というものは、皆さんの実生活に引き寄せて考えることで、思想家たちが何を問い、何を考えてきたのか、その意義や魅力がより深く見えてくるものだと思います。それを伝えることができるかどうかは、教員の力にかかっていますが、私自身まだまだ学びの途中です。皆さんからいただいた感想や問いかけを励みに、よりよい授業を目指して、これからも精進してまいります。
45	社会的養護Ⅰ	杉本 大輔	前回とはほぼ同じ結果。猛省する。
46	子どもの理解と援助	穴水 ゆかり	授業プリントはテキストを兼ねており、授業スタイルはスライドを読み上げた後に補足説明をして、演習は各々に考えてもらった後に説明を加えるものとしている。このため、授業を聞いた学生は「プリントに書いておくことを覚えているだけでいい」わけでは無いことを認識していると考えている。ただ、子どもや保護者とのかわりに関する授業にもかかわらず、興味関心をもてなかった学生や、不満を残した学生がいたことはアンケートの通りである。「学生を惹きつける授業」ができなかったことを反省している。今後の授業方法について再考したい。
47	スクリーン・ソーシャルワーク演習	上原 正希	3名中3名がすべての項目で「充分満足できた」と解答をいただきました。しかし少数でし、返答もしづらかったのではないかと考えると、この結果を補償みにはせず、自己研鑽をしていきたいと思っております。返答をいただきありがとうございます。
48	身体表現	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。学生から要望等について、ご指摘がありましたので今後は、満足の行くような授業展開を心がけて行きたいと思っております。ありがとうございます。
49	乳児保育Ⅰ	吉江 幸子	「乳児保育Ⅰ」の受講、ありがとうございます。授業評価は、設問7以外すべて高評価100%でしたので、シラバス説明を含め、学生の意欲や学びの姿勢に助けられた結果だと感謝しています。「授業内容への興味・関心」が設問7です。とても思う88%、十分思う12%でした。「ヒト」のスタートが乳児なので、興味・関心を持ってもらえるよう後期に向けて準備します。後期は「乳児保育Ⅱ」で演習が始まります。実技演習が多くなりますが、今回の「乳児保育Ⅰ」講義内容をもとに、生命の保持と情緒安定を図る関わりを中心に組み立てます。「Ⅰ・Ⅱ」は連続した科目です。乳児保育への学びを深めて3年次の保育実習で活かせるよう準備しましょう、よろしくお願いたします。
50	子育て支援	杉本 大輔	昨年度とはほぼ同じ結果。猛省する。
51	基礎デザインⅠ	林 春生	シラバスは説明、要約などしているのですが、2%が見えていないと答えたが、対応不可。時間配分が悪いと7%全体の進捗状況を見て判断していたが、悪いと感じた学生が居るなら改善する。理解度が悪い、関心が無い、が7%もこの授業が今後どのように関わってくるのか、スキルや目標が分かり易くまとめる。作品チェックに待ち時間が20〜30分待ちとあるが、個別に詳しくコメントしているために必要だが、改善案を考える。
52	WEBデザインⅣ	山腰 雅樹	ページ制作の中で各コンテンツに対するマークアップやスタイル設定等を指導する流れを取っていましたが、コンテンツに使用するパーツ制作により焦点を当てて指導する形の方が理解が深まりやすいかも感じました。次回からは少々進め方を改善していこうと考えています。また、プロジェクトを使用する兼ね合いで部屋のある程度暗くしていましたが、2コマ連続で授業を行うこともあり体への負担も少々あるようですので、プロジェクトに映して指導する時間と演習する時間を明確にして進める等、今後検討していきたいと考えています。
53	キャリアデザインⅠ	三上 いずみ	課題量はじっくり取り組めるよう二つに絞り、適切な負荷となるよう配慮しました。フィードバックを重視し、個別に丁寧な助言を行うことで学びの深化を図りました。授業内容はスクリーン提示などで明確化し、グループワークによる相互理解や発想の広がりも効果的でした。プレゼンで選ばれた経験も学びの一環として位置づけています。
54	保育内容演習Ⅰ(健康)	宮崎 剛司	今回の演習内容については、多くの学生から肯定的な意見が寄せられ、相応しい成果につながったと感じています。課題は、合同的な授業を進める上で効果的に設計し学生一人ひとりの個性や進捗度に応じて知識と技術を習得できるよう工夫しました。その結果、演習全体として能動的かつ統一感のある活動となったと思います。
55	保育内容演習Ⅲ(環境)	佐藤 慶知	アンケートの結果をもとに講義の改善努力を怠りません。一部板書が読みにくい事があったかもしれませんが、どの学生さんにもわかりやすいように板書を易く書くように心掛けていきます。
56	保育内容演習Ⅳ(言葉)	太田 俊一	授業内容は比較的難しいと思われたが、受講シートでの振り返りや、授業シートでの設問への取り組みなど、意欲的に取り組んでいた。授業中の発言や演習の発表なども、積極的に進んでいた。パワーポイントの文字の語法について、スライドをさらに洗練し、説明も適切に加えていきたいと考えている。
57	建築材料実験	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。理解度、満足度ともに90%以上の高評価をいただきました。改善意見として、実験前の説明を少し短くし、実施時の説明をプラスチックでほしいとの意見、実験報告書の作成の仕方を丁寧にしてほしいとの意見などがありました。基礎知識がない1年次第2Qの時間割であるため、材料の基礎知識が不足しており、説明が分かりにくい部分があったのかもしれません。初めての建築関連の実験で楽しめたこと、グループ作業で協力などが重要との意見もありました。さらに理解度が向上するような説明に努めていきます。
58	二級建築士演習Ⅱ	佐藤善・向井	アンケート回答ありがとうございます。多くの方に評価いただきました。引き続き、授業改善に取り組んでまいります。
59	一級建築士演習Ⅱ	安藤・佐々木哲	学科Ⅱの出席内容から、問題の解答と説明をおこなうにあたり、できる限り画像とともに解説をおこなった。テキストベースで理解するよりも、建築形態または建築空間を画像として認識する方が理解しやすいとの意図からである。今後より理解するための解説を心がけていきたい。
60	建築計画Ⅱ	安藤 淳一	建築計画Ⅱは各論であり、建築種別ごとに基本的機能から社会状況の変化に対し今後の建築のあり方等について説明をしており、主要な建築全般を理解してもらうことを目的としています。基本的な知識は、建築士試験で出題される問題と直結しますので、より理解してもらうための内容を取り入れるよう工夫していきたいと思っております。
61	建築法規Ⅱ	佐藤 善太郎	声が小さい、字が汚い(読みづらい)等についてはこれからは私も気を付けます。法規Ⅱからは愈々法律の中身を垣間見る授業です。法令集を読む授業でもあるので重たいけど我慢してください。法規Ⅲ・Ⅳでも基準法を中心に勉強していきます。
62	鉄筋コンクリート構造	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。理解度、熱意、満足度において90%以上の高評価をいただきました。自由意見として、後方の席からはスライド、板書文字が小さく見えづらいとの意見、説明のスピードが速く理解が追いつかないとの意見、試験範囲の説明が漠然としてわかりづらいとの意見などがありました。今後は配布資料の再整理、スライド、板書文字などについて改善します。より理解しやすい授業に努めていきます。
63	職業指導(M)	岩立 顕一郎	職業指導という就職のための履歴書や面接の方法論が中心になりがちですが、本講義はまず正解は自分の中にかかっている心構えから入るものでした。初回で意外と思われた方も多かったような印象ですが、講義に興味をもって参加してもらったことを嬉しく思います。なによりも自分を知ること、そして自分らしく生きていこうとすることが少しくも伝わったこと、また働くということに対して多様な選択肢があるということ認識して頂いた方が多く、この先の人生において後悔の無いより良い選択に活かして頂ければ幸いです。おそらく特別講演に 来ていただいた方すべてが真剣にそう願っていると思っております。座席に関しては受講生の総数を踏まえ適切に対処したいと思います。

2025年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

No.	購読名	氏名	教員コメント
64	建築積算	佐々木 哲之	建築積算は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくことが重要な科目である。質問の時間を多くすることに努めるようにしていたが、設問6では「とてもそう思う」45%、「充分とそう思う」が32%と高評であったが「あまりそう思わない」が23%であった。限られた中での理解度の確認時間と授業進捗のバランスが難しく、このことが今後の課題である。
65	ｽﾎｰﾌﾟ社会学	戸佐 晃一	各項目に対して高い評価をもらうことができた内容については今後も継続をするとともに、今回以上に内容を見直していきたいと思ひます。また、指摘のあったレポートの提出期限、スライドが早くノートを書ききれないなどについては今後、検討をしていきたいと思ひます。
66	日本経済史	小林 大州介	第2Qお疲れ様でした。試験の結果はおおむね良好で、皆さんよく頑張ったと思ひます。今後も興味・関心を持てる講義を目指したいと思ひます。
67	ｽﾎｰﾌﾟ心理学	佐藤 和裕	ｽﾎｰﾌﾟ心理学に興味を持ってもらい理解してもらったことを意識し、実際に実技的な動きを体験してもらい自分自身へ応用できるように工夫した。また、毎回プリントを配布しパワーポイントを使用して学生から大事な部分をプリントに書かせて覚えさせ授業の最後には必ず振り返りの課題を行い授業の理解度を確認してきた。今後も事例等を含めて、より理解が深まるような授業を工夫していきたいと思ひています。
68	経営情報論	轟田 勇智	アンケートの回答ありがとうございます。まず、今回の授業でグループワークは初めての試みでした。そのため、皆さんに迷惑をかけた部分が多々あるかと思ひます。申し訳ありませんでした、次年度以降改善してまいります。また、出席回数に関する意見がありました。こちらは危なくなるほど欠席をしていることが自覚がそもそも問題かと思ひますので、まずは自分の授業に対する態度を見直してみてください。今回の授業はお互いに学びが多い授業になったかと思ひます。ありがとうございました。
69	ｽｶﾞ経済学	河野 善文	履修者が予想以上に大人数となり、後ろの席からは板書を見づらいのが課題となりました。黒板を見ずらい人のために今後も前列の席をいっしょ空けておき積極的な利用を呼びかけたいと思ひます。
70	ビジネスプランニング論	猪尾・石山	本講義では創業計画書の作成および目的と内容、必要性を理解することを主目的として進めております。従いまして演習を取り入れるなどしながら、実際の創業計画書のイメージやこれまでの学習してきた知識を踏まえてどのように作成していくかを事例も用いながら講義を行いました。今年度は20名程度の履修登録であったため、演習および課題（創業計画書）作成の時間を多く設けて学生からの質問、相談に応じる時間を確保し各学生の理解度を確認しながら助言、指導することが出来たと考えております。やはり3、4学年となるとそれまでの学習・知識レベルには差が出ており、少人数で行うことによりそれぞれのレベルに合わせた助言・指導が行え、学生の理解も深まると考えます。次年度以降も履修人数を考慮して講義形式や石山先生との担当割などを協議して講義にしたいと考えております。
71	まちづくり論	松本 聡	「あまり適切ではない」、「適切ではない」といった回答の合計が、総じて10～20%程ありました。まだまだ工夫が要りそうです。特に、配付資料の作成、授業の時間配分、板書の見やすさといった項目については、大いに改善を心がけたいと思ひます。そのためにも、授業期間中に、進め方等についての意見や要望をより積極的に出して頂き、早めにきめ細かく対応することに注力して参りたいと思ひます。
72	人的資源管理論	信濃 吉彦	概ね合格点を頂けたようで良かったです。が、はっきり申し上げて不勉強が過ぎます。3年生にもなって基礎事項が理解できていない学生が多すぎます。夏季休業中に自分なりのテーマを持って学習に取り組んだ学生が何人いるのでしょうか？この科目は今年が最後です。良かったのか？悪かったのか？いずれにしてもモチベーション理論とリーダーシップ論はしっかり押さえておいてください！！
73	ｽﾎｰﾌﾟ文化論	細川 光法	授業は分かりやすいことを目標にしています。分かりやすかった人や分かりずらかった人といういろいろですが、さらにどうしたら分かりやすくなるかということを考えていきたいと思ひます。また、スポーツ文化論なので、これ以上マネジメント要素を増やすと、文化論としてなりたなくなるので、ご了承ください。記述が多いので指摘がありましたが、私にはできるだけ詳しく説明したので、記述を少なくすることは今のところ考えていません。何とか頑張ってついてきてください。いつも熱意を持って授業にあたっていたのですが、伝わらなかった方もいるようです。どうしたらいいか思案中です。授業のスピードはできるだけ一定にできるように努力します。これからも学生の期待に応えられるよう可能な限り対応していこうと考えています。
74	体づくり運動	是枝 亮	体づくり運動の授業では、自己の体に関心を持ち、体力づくりにはどのような運動が効果的であるかを理解し、指導実践できるよう身に付けることを目的とし進めました。実際の教育現場では様々な体力レベルの子供達です。体力レベルの違う学生たちに対してどのように授業を展開していけば運動を好きになってもらえるのか、学ぶことができた大切な時間になったと感じます。この時間で学んだことを忘れず今後も頑張ってください。
75	学校保健	天野 雅斗	時間配分など、授業の進め方一部適切でない箇所があったため、次年度は授業が適切に進行するよう時間配分などを調整する。
76	生理学	黒川 泰任	ヒトが他の動物と違う点は何な点でしょうか？ 二足歩行でしょうか 言葉=言語を持っていることでしょうか 手=上肢を器用に使えることでしょうか ルールを決めてそれを守ることでしょうか できない=困難なことに挑戦しようとするかどうか このように、われわれ=ヒトの持っている能力は何かと考えてそれを理解しようとする、われわれの「持っている正常機能」とは何かと知りたくなります。これが学問としての生理学が追求してきた、また負い続けている本質的な目的で、これこそが医学の中心=本質なのです。大学生の皆さんには、ぜひこのヒトの持つ機能=可能性を「考え」「追求」する姿勢を持ち続けてほしいと願っています。
77	衛生学及び公衆衛生学	宮崎 剛司	今回の授業については、アンケート結果から多くの肯定的な意見が寄せられ、一定の成果があったと感じています。一方で、改善点を指摘する声も見られました。これらの結果を踏まえ、今後は学生の理解をより深めるよう工夫を加え、学習効果をさらに高めていきたいと考えています。
78	精神保健I	近藤 亜弥	授業お疲れさまでした。運動部に所属しながら、講義に出席し大変だったと思ひます。「どうして俺らだけ」という言葉に考えさせられました。いろいろありましたが、多くの授業時間に来ていただきありがとうございます。初めは笑顔が見れず不安でしたが、少しずつ小さく笑ってくる姿に元気が出ました。卒業後は思春期の生徒たちに関わる人が多いと思ひます。こどもたちの困難や苦しみをひとり抱えず、適切なタイミングで、適切な場所に繋いでくれることを期待しています。良い先生、インストラクター、スポーツマンになってください。応援しています。
79	建築設備	君 興治	建築の図面は考えた事を相手に対して伝えるためのものなので、細かい設備の計画や使いやすさ、法律にかかわる基準、取付位置を踏まえて、実務に近い設備の授業を進めていきたいと思ひます。
80	ｺﾝﾃﾞﾞﾏﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ	堤 美穂子	授業内容が少しわかりづらい、というのは、もっとわかりにくい、ちんぷんかんぷん、という回答を予測していたので、概ねわかりやすくてよかったらと考える。重点をまとめる、というアドバイスはとても参考になるので、実践したい。ほんとうはリモートはOKではないなかったが、学生同士のトラブルがあり、やむなく対応した。今後はシラバスの説明時に、その点についても補足して伝えたい。グループワークの中で寸劇を取り入れたのは、体を動かすと学んだことの定着になるためである。その点についても説明すべきであった。レポート課題についての告知をもう少し早めるよう、心がけたい。この授業は、広義のデザインについて新たな気づきを得てもらい、その定着を図るために後半はグループワークを行うという形式に進めた。広義のデザインについて、若い段階で意識して暮らすことで、世界をより柔軟に捉えながら成長していけるようにと願った内容にした。デザインを、強く、賢く生きるための生活力として学んでいただけたことになる。今はドンとこないかもしれないが、必ず人生に役立つと信じている。この想いを、学生に伝えることができ、漠然とでも理解してもらえたようである。自分にとっても有意義な時間だった。
81	公共ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾞﾏﾝﾄ論	山本 一彦	1年前の時期における授業でもあり、単元によっては高校公民分野との接続を意識しながら進めたが、こちらが思う以上に理解されていたようである。留学生の中には言語上の苦労があると感じられ、今後、板書・発話により注意をしながら進めたい。
82	教育史	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「話し方」は、「適切だった」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が97%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「教職を目指すために、授業内容の理解はもちろんです。授業態度やあいさつの意味など深いところまで教えてくださってすぐ自分の力になった。」「他の授業と違い自分の考えをしっかりと表現することができ、人任せにしないで終われる授業ではなく全員が主体的に取り組むことができていて、充実した授業を受けることができたと感じた。」「人前で発表する機会が多く教師としての練習にもなる授業でした。内容としては難しかったのでしっかり復習して、採用試験に向けた努力をしたいと考えました。」「毎週木曜日に西洋の教育史について的小テストがあり、学習意欲が湧く構成で良かった。」「また、グループワーク中心で他の人が与えられた課題のテーマに対してどのように考えるかという取組は良い刺激になってよかった。」「あまり考えたことのない内容が多くて、難しく感じましたが、新しい発見があってとても面白かったです。授業の発表も良い経験になりました。」「色々な人と話す機会がたくさんあったので、主体的で深い学びになったと思う。」「もともと話し合いで自分で意見を出すのが苦手だったけれど、先生が作ってくれる雰囲気がよく少し苦手な気持ちが薄れたし、他の人の意見を聞いて、新しい発見がありすごく楽しかったです。」「教師になる上で必要な教育の歴史を中心とした知識を学習できて、たくさん学ぶことができた。」「自分の意見をまとめて相手に伝える力がついた。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
83	教育方法論	藤根 収	授業全体について比較的高い評価をいただきました。学生の皆さんの協力で活発な授業づくりができたものと思っております。なお、授業時間については時間内に必ず終了しておりますが、一部ながら授業時間や説明内容について意見もいただいていることから、学生の理解を促すための分かりやすく、関心を高められる授業づくりに一層努力してまいります。

< 前期 >

No.	購読名	氏名	教員コメント
84	情報基礎演習I (M-A)	轟田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
85	情報基礎演習I (S)	宮崎・轟田	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
86	情報基礎演習I (D)	轟田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
87	情報基礎演習I (A)	轟田・佐藤雅・伊藤	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
88	情報基礎演習I (M-B)	轟田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
89	情報基礎演習I (M-C)	轟田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。授業内ではofficeばかり扱いましたが、現代社会を生きていく上でパソコン自体使えるようになっておいて損はないと考えています。この授業をきっかけに少しでもパソコンに興味を持ってもらえると嬉しいです。
90	ｽﾎｰﾌﾟ総合 (M-A)	佐藤和・米野・岡田	引き続き学生が楽しく体を動かせれること、十分怪我に留意して授業を展開していけるようにする。
91	ｽﾎｰﾌﾟ総合 (M-B)	佐藤和・米野・岡田	各スポーツ種目に必要な基本技術の習得とルールを理解してもらうことを意識し、前半は個人種目、後半は集団種目を取り入れたが、集団種目のゴール型においては運動部と運動部ではない者の実技レベルの差があったため、集団種目のゴール型の難しさを感じた。今後、集団種目のゴール型に関しては安全面を考慮しながら別な種目を検討していきたいと考えています。
92	ｽﾎｰﾌﾟ総合 (S-A)	三嶋・天野	スポーツの目的である「自らの意思で運動を楽しむ」ことに対し学生による進捗が大きい。運動への受け入れを快くするための導入に改善し学生がより主体的に取り組める講義づくりとしたい。
93	ｽﾎｰﾌﾟ総合 (S-B)	三嶋・天野	学生間による運動技能を有効に活用し、学生がより主体的に取り組める講義づくりとしたい。

2025年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

No.	購読名	氏名	教員コメント
94	ｽﾌﾟｰ総合 (DA-M)	石井 祐治	普段運動をしていない学生が多い中で、運動する楽しさや健康の保持増進のための必要性を実体験してもらうこと、学生達主体の授業を心掛けて行いました。全体的にゲーム中心の授業でしたがゲームの準備も含めて協力的に活動してくれて、けが人を出さず終ることができました。
95	ｽﾌﾟｰ総合 (DA-W)	三嶋・岡田	種目によって多少の個人差は出てしまうが、クラスの一人でも多くの人々が満足して体が動かせる授業を展開しているようにする。
96	ﾌﾞﾗｯｼﾞⅠ (A)	橋 春香	今年度から初の担当でしたが、概ね楽しく学んでくれたようでした。長所を伸ばしデッサンの面白さを少しでも味わってもらおうと指導にあたりました。アンケートを受け、講評時の他者の作品への評価を自分ごととして聞く姿勢をもっと伝える必要があると感じました。描く時間不足という意見もあり、一課題に対してのスパムが短く、初心者にはややハイペースだったかと思えます。今後のシラバスの作成の参考に致します。
97	ﾌﾞﾗｯｼﾞⅠ (B)	橋 春香	今年度から初の担当でしたので、新入生と同じくらいの期待と不安の中、手探りしながらでしたが、概ね楽しく学んでくれたようでした。初めてデッサンを描く人でもリラックスして、デッサンの面白さを少しでも味わってもらおうと指導にあたりました。また、経験者に対しては少し深いテーマで話すことで、退屈しないよう心がけました。学生のみなさんひとりひとりの個性と才能の輝きに触れることは大きな喜びでした。
98	ﾌﾞﾗｯｼﾞⅢ	西田 陽二	履修生が多く、造形デッサン室では少し窮屈な思いをしたように感じました。デッサンは集中力が必要な実技の為、学生がストレスを感じない環境の充実が大切だと感じました。
99	基本製図	向井 正伸	評価ありがとうございます。今年から、作図手順を何度も確認できるように、作図手順資料を作成し配布しました。さらに基本製図に関する教科書を導入し、図面の理解を深め、進級や就職した際にも何度も見返せるように配慮しました。一方で、資料や教科書についての補足説明不足からか、理解が追いつかないとの指摘もありました。今後、説明を丁寧に行います。
100	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅠ (S・D・A)	山本 一彦	全体的には概ね内容の理解を得られたと受け止めているが、やはり、大講堂における100数十名規模の授業の問題点が現れていたといえる。気をつけてはいたものの、板書表記が見づらいという指摘もあり、今後の課題である。
101	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅠ (M)	山本 一彦	100数十名規模の授業であることから全体的な理解度に心配があったが、こちらの予想より内容の理解が得られていたと思われる。授業展開での現実の事例等の提示もよく受け止めてくれたと感じている。ただ、10%余りの受講者が理解できなかったと回答していることには今後さらに工夫が必要と捉えている。
102	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅡ (M)	井坂・石山	授業の満足度、授業の理解度共に学生からは高い評価を得ることが出来ました。「様々な企業の方からの説明や講演がたくさんあり色々勉強になりました。この経験を活かして、これからの学習や進路活動を行っていきたく思います。」と学生コメントがあったように、大学生の早い段階で進路に対しての知識を得られること、SPI検査などを受けられる利点がありました。一方、興味の無い講演等では学生の集中力が落ちていたため、ワークシート等を用いて集中力を高める工夫が必要であると考えました。
103	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅡ (S)	後藤 啓倫	受講生の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございます。皆さんからいただいた率直なご意見は、キャリア支援演習の担当者間で大切に共有し、今後の授業づくりにしっかりと生かしてまいります。皆さんのおかげで、より良い学びの場をつくるための大切なヒントを得ることができました。これからも皆さんの声に耳を傾けながら、改善に努めてまいります。
104	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅡ (D)	竹内 美帆	グループワークの練習などで、普段話さない他学科の学生と一緒に体験できたことをよかったですポイントとして挙げていた学生が多く、こうした実践型の授業は増やしていくとよいと感じました。デザイン学科に関連する企業を増やしてほしいという声は、対応していきたいです。出席や出席の問題については、来年度に向けて改善点を担当教員で話し合う必要性を感じました。
105	ｷﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅡ (A)	伊藤 裕康	さまざまな企業や就活サポート企業の方に来ていただき、これからの就職活動に必要なことを教わったと思います。多くの学生が満足できたと思います。グループ活動については、もう少し学科毎にまとまって話し合いをしたいと考えていた人もいますが、普段話したことのない人同士で話し合う方が効果が高いと考えて、座席も学科ごとにまとまらないようにしています。今後もこの形式を続けていく予定です。
106	特別支援教育実習(事前指導)(4年)	木村・千葉	教育実習と重なるため、誰かは欠けることは多かったが、当初の予定どおりにシラバスを進めることができた。全員、前倒し受験で合格していたため、授業づくりの講義と模擬授業のほかに、一次試験の結果を待たずに面接の練習も実施した。教職センターの面接練習以外にも場数を踏むことができ、採用試験の準備がより万全になった。
107	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	島山・西野 大島・近藤	アンケートへのご協力・回答ありがとうございます。 実際の実習現場をよりイメージできるよう、今後も実習前準備の教授法を工夫していきます。
108	立体構成Ⅰ	梅田 力	多くの学生から授業に満足していると回答をいただき、楽しくできたとの自由記述の回答もいただきました。Teamsのチームをもっと早く作り、課題の共有をしてほしいとのことでしたので、次年度改善していきます。(以下学生による自由記述より) ・最後の方は出来るものと出来ないもの色々あって、上手くいったとき満足できて良かったです。お題の素早さが難しかったです ・立体構成の授業に興味を持って取り組みました。授業の雰囲気もよく制作に集中でき意欲を持って取り組みました。 ・毎回その題材に合った写真を見せてくれるので、どうしたいのかわからないということがなかった。音楽を聴きながら作業することができ、周りが静かだったので集中することができた。 ・先生の説明や授業自体も面白く、楽しくスキルアップすることができたと思う。個展の紹介などこれからの自分たちのためになるような情報も教えていただき、とてもいい授業であったと感じた。 ・ポートフォリオの制作について学べてよかったです。先生による作品のフィードバックが、とても参考になってよかったです。皆でできた作品を見合うのがよかったです！ ・3分くらいでコンセプトを解説するのよかったです。授業の最後に行う見せ合いの時間がとても良かったです。 ・自分のスタイルや新しいインスピレーションを発見できました！ ・なれない作業が多く苦戦したが、立体的表現における基礎的な能力を磨くことができたように思います。また、先生の人柄も大変良く明るい雰囲気を受け取ることが出来ました。 ・楽しく学べました。 その他、意見としてTeamsのチームを早めに作り、情報の共有もしてほしいとの意見がありましたので、改善します。(意見、自由記述より) ・チームズのチームを早めに作って欲しい。出来ればそこで課題の設計図や次回用のテーマなどを出して欲しい。
109	ｲﾝｽﾄﾚｰｼﾞｮﾝ基礎Ⅰ	佐藤 正人	授業の全体の評価やコメントなどは、としては満足してもらえたものになってきた良かったと思います。授業中の態度を見ていても、それぞれの課題を各学生なりに理解して一生懸命進めている姿も見られたのは嬉しく感じます。ただ中には初めてイラストに触れる生徒がいたり、ある程度イラストを描いて来た生徒もいたりそれぞれレベルに違いがあるので、それぞれのスキルアップを図るため個々へのアドバイスもより生徒の力量に合った良きアドバイスができるよう進めていきたいと思ひます。、これからも課題内容についても更に興味を持ってもらえる内容を考へて行きたいと思ひます。
110	ｸﾞﾗﾌﾞﾞﾗﾌﾞⅠ	堤 美穂子	学生の回答から、実務家教員として、実践に役立つ内容を提供できたと感じている。しかし一人の学生が、複雑な気持ちで私の言葉遣いを受け止めていたことは、非常に心残りである。一人でもそう感じてしまうことは、自分の職業柄あってはならないことなので、重要な改善点として重く受け止めたいと考えている。一方、すこし強めに言わないと気づかない学生もいるだろう。どこに敷加減をおくべきかについても、同時に考えていきたいと思う。課題のボリュームや時間の配分など、すこし辛い程度に標準をあわせてつもりだったので、たいへんだったという声はむしろ狙い通りである。ただし、最後の課題は、授業内で学生が倒れたことにより授業が大幅に中断し、予定したレクチャーができなかった。とても残念である。今後、以上のような点に配慮しながら、次の授業に活かしていきたい。
111	ﾌﾞﾗｯｼﾞⅡ	林 春生	シラバスを見ていないが3%だが、必ず当初に説明していますので、もっと印象に残るように努めます。授業への関心が無い、理解度が悪い、時間配分が悪い、熱意が感じられないーらが3%ありました。授業への関心が向くような課題に改善します。理解度が低いのは説明やアドバイスの方法を改善します。時間配分は悪い印象の学生と良い学生がいたので、バランスを取つつ対応します。熱意が無いに関しては、自己努力致します。
112	ﾌﾞﾗｯｼﾞⅢ	林 春生	教材の使い方の、授業の理解度が6%不満と出ました。教材の使用時に理解度が増すように、改善します。授業の満足度が上がるように、課題の改良、指導方法の改善を行います。
113	漫画Ⅰ	三上 いずみ	前期授業では、ぐちゃを意図させる課題設計やフィードバックの活用、グループワークによる相互成長を重視しました。一定の効果が見られた一方で、教材の不足や説明の丁寧さ、課題提示時の指示漏れなどに課題が残りました。次年度はこれらを改善し、より安心して学べる環境づくりに努めます。
114	ﾋﾞｼﾞｬﾙﾃﾞｰｼﾞﾈｰﾘⅠ	田中 靖之	ビジュアルデザインⅠは、「情報伝達を視覚的にレイアウト表現する演習」を主体とした内容ですが、学生は概ね実施できたと思います。ただDTPの基礎的な知識と実践はリアル感が持てず難しかったようです。基本的な演習課題は、もう少し噛み砕いた資料の提示を充実させるのが講師の課題と認識しました。
115	ｲﾝｽﾄﾚｰｼﾞｮﾝⅠ	浩而 魅諭	アンケートを回答してくれて有り難うございます。基本的なことをしっかりと身につけていけるようシラバスを組みました。アンケートの結果から、皆がイラストレーションの奥深さを感じてくれたようだ読み取れました。今年度のアンケートの結果を反映しさらに練り上げたシラバスを次年度作成し、授業に臨もうと思います。
116	ｲﾝｽﾄﾚｰｼﾞｮﾝⅢ	佐藤 正人	3年次の授業という事で広告業界、出版業界で行われているプロの仕事内容に近い、より実践・応用の事を学ぶ機会として授業の組み立ても考えて実施しましたが、多くの学生が満足いくと感じてもらえた事は興味を持ってもらえた内容となり、2年間学んできたことを各学生なりにラストに表現できたのだらうと思います。課題内容の進め方については多少考慮すべき点もありますが、学生にとってこれからの更なるスキルアップに繋がるよう授業内容も更に良いものにして行きたいと思ひます。あと学生のコメントで自分の授業で自分のものへのコメントも入っていたので、授業名を間違えないよう確認すると良いでしょう。
117	ｺﾝﾃﾝﾃﾞｰｼﾞﾈｰﾘⅠ	上坂 恒章	この授業は、デザイン学科のFDを対象とし、PDCAサイクルに対応し継続的に検証している科目です。デザイン教育に必要なWebデザインを体系的に学ぶことができ、この領域の検定に対応していることもあり、また大学3年生レベルとしているため、難しい側面もある。アンケートの結果は、全体の平均が4.3となり、改善してきた項目では4.5とになっていた。自由記述では、「検定に向けてWebデザインの基礎について学習することができてよかったです。」「授業の内容はとて面白かったです。」「htmlとcssを初めて触れて多少なれないですが、これからも学んだスキルを磨いて使っていきたいと思っています。」の意見のほか、「サイトを作成していくので、やりやすかったが、なかなか上手く画面が反映されないなど、難しい点が多かった。」とのコメントを頂いた。
118	彫刻Ⅰ	梅田 力	多く学生から授業に満足したとの回答をいただいた。大きさや課題の微調整等を数年間行ってきたが、改善の兆しが見えたように思います。今後はさらに完成作品の質を上げる声かけをしていきたいと思ひます。出来れば着色も挑戦したいと考えています。(以下学生自由記述 一部抜粋) ・完成した作品は、自分の最低限のラインの彫刻になってしまったが、あれでもシルエットを作ることができた。欲を言えば、○○の顔をしっかりと作りたかった。 ・作品の制作の際にアドバイスを貰うことや、質問がしやすい環境下での授業を行うことが出来ました。分りやすい声量や説明で授業を行っていたのでとても分りやすかったです。 ・分らないところなどを聞くとお身に相談に乗ってくださってとてもいい作品ができた。 ・楽しかった！ ・難しかったが、楽しかった。 ・これからも続けたい。
119	漫画Ⅲ	五十嵐・鴨	概ね良い回答や好意的なコメントが多く、学生が授業を意欲的かつ楽しく取り組むことができたのではないかと感じました。ただし毎年シラバスを読み上げているにも関わらず必ず「読んでいない」の回答があることに対して対策を講じる必要があります。また、アンケートの回答数が若干少なかったため今後は周知と確認を徹底していきます。
120	彫刻Ⅲ	梅田 力	前任の岡松明日香先生の授業をそのまま引き継ぐ形で行った授業でした。授業計画の仕方や、題材設定、よく考えられている授業だと感じながら授業を行いました。次年度は少し素材の変更等を検討しながら、継続していきたいと考えています。(以下学生の自由記述より) 楽しく熱中して作品を制作できていたのは勿論なのですが、課題数が不明だったという人が、聞いていなかったのではないのでしょうか。あるいは、シラバスを確認していなかったのではないのでしょうか。以上がコメントの全てであり、概ね、ポジティブな評価をいただき、楽しめた授業になったのだと知りました。今後も細かい修正を加えながら、進めていきたいと思ひます。 なお、建築学科の人の一部がうるさかったと他方からコメントが複数ありました。今後は少し注意して進めてまいります。
121	図学	赤木 良子	概ね、ポジティブな評価をいただき、良かったと思ひます。いくつかのコメントについて、講評が欲しかった という点について、そうですね。個々にはフィードバックしておりましたが、全体の講評ができるよう次回から努めてまいります。また、建築学科の一部の学生がうるさかったということで、本授業では相談しながら作業を行なっても良いということで進めていますが、昨年度も同じようなコメントがあったため、次回からはその辺りをもう少し注意しながら進めていきたいと思ひます。ありがとうございます。
122	図学(建築図学を含む)	赤木 良子	課題数が多い、あるいは、課題がいくつあるのか不明だったというコメントがありました。提出必須のものはシラバスに書いてある課題数と同等です。 なお、プラスアルファとなった最後のものは、提出自由のものであります。 授業の途中でも課題内容と数については説明しているため、課題数が不明だったという人は、聞いていなかったのではないのでしょうか。あるいは、シラバスを確認していなかったのではないのでしょうか。以上がコメントの全てであり、概ね、ポジティブな評価をいただき、楽しめた授業になったのだと知りました。今後も細かい修正を加えながら、進めていきたいと思ひます。 なお、建築学科の人の一部がうるさかったと他方からコメントが複数ありました。今後は少し注意して進めてまいります。

2025年度 授業改善アンケート第2Q・前期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

No.	講義名	氏名	教員コメント
123	一級対策製図Ⅰ	君 興治	二級建築士を所持していない学生でもエスキスができるように簡単な部分から段階的にステップできる問題の解説と、どこがわからないのかについて意見交換を行いました。現時点では過去の製図試験問題に取り組める状態まで学生のレベルを引き上げられたと思っていますが、一級建築士試験は学生の努力が不可欠です。エスキスを継続して頑張ってください。
124	二級対策製図Ⅰ	佐藤善・向井	アンケート回答ありがとうございました。ステップを分けて作図方法やポイントを説明しました。引き続き授業改善に取り組みます。
125	アクションゲームⅤ	伊藤 裕康	ここ数年実施しているマンションデザイン実施コンペについて、多くの学生が参加してくれました。期限が決まっていた限られた時間内で素材や色を選び出してコーディネートしなければなりません。向井先生の指導の下でがんばってくれました。他の人のアイデアのプレゼンを聞くことで、たくさんの経験を積むことができたと思います。チャンスがあれば来年以降も継続していきたいと思っています。
126	スポーツビジネス論	守屋 俊甫	「先生の熱意」について64%の学生が「とても思う」と答えてくれるなど、全体的に高い評価をもらえたこと、そして多くの学生が授業内容をよく理解し、満足してくれたことは、私にとって大きな励みになります。一方で、YOSAKOIに関する講義が、個人的な趣味の宣伝のように受け取られてしまったというご指摘は、私の反省点です。本来、スポーツビジネスを研究する上での具体的な教材として、その歴史や経済効果を伝える意図だったのですが、その点が十分に伝わっていなかったと痛感しています。「ディスカッションやディベートが面白かった」というご意見を参考に、今後さらに学生が主体的に取り組める機会を増やしていきたいと考えています。今回の反省を踏まえ、次回はより深い学びと興味につながる授業を目指します。
127	球技Ⅰ(バドミントン)	天野 雅斗	保健体育教諭としての実技技能の向上および知識・指導方法のさらなる習熟に向けて、授業内容の見直しを図る。
128	球技Ⅱ(バレーボール)	天野 雅斗	保健体育教諭としての実技技能の向上および知識・指導方法のさらなる習熟に向けて、授業内容の見直しを図る。
129	球技Ⅳ(フットボール)	米野 宏	学生の理解度を確認しながらの授業に不満が出ているので今後の課題としたい。
130	行外漫画概論Ⅰ	竹内 美帆	マンガやアニメなどのコンテンツについて深く知ることができたという声が複数寄せられ、アンケートの回答でも「理解できた」という回答が多く寄せられたので、おむね授業の目標は達成できたのではないかと思います。グループワークについて高評価をしているコメントが多かったので、今後も継続していきたい。また、少女マンガだけでなく少年マンガなど他のジャンルも取り上げてほしいという声があったので、来年度は様々なジャンルのマンガについて取り上げていける内容を考えたいです。
131	写真表現Ⅰ	林 春生	シラバスに関してだが、必ず履修目標や評価基準を説明している。が、4%の学生が聞いていないとアンケートに答えている。印象に残るように説明に工夫を凝らす。他の評価は全て良かったので、引き続き改善をしていく。機材の充実も図ります。
132	日本画	岡 恵子	全授業終了後、大学実施のアンケートとは別に授業の詳細についてアンケートし、履修生の意見を聞きました。来年に向けて改善点が何点あります。まず冊子で渡して毎回記入を指示しているレポートブックですが、毎回の記入を負担に思う学生も増えているようです（学生の記述内容の充実度から）内容を若干簡略化し改善します。彩色などの日本画の具体的な技法の解説は都度行っておりTEAMSでも画像で説明していますが、こちらもやや説明不足と感じる学生がいるようなので改善します。全体に授業の内容が盛りだくさんで時間配分がタイトな印象が強いようなので、こちらも簡略化して、より作品制作に掛ける時間が増えるように配慮します。教員側からの要望としては、授業を欠席や遅刻する学生が多くなっているようなので、日本画は簡単には描けない。授業を休まないことを前提に履修するように心がけて欲しいと感じました。履修生とは気持ちよく充実した時間を持てました。ありがとうございました。
133	洋画	安田 祐造	いただいた感想や意見を、次の機会に授業に反映させたいと思います。
134	造形論	浩而 勉論	アンケートの回答を有り難うございました。今年度初めて受け持つ科目でしたので、シラバスを作る時には造形論として極基本的なことを盛り込みました。今年度のアンケートの結果から、多くの学生が新たな知識を得ることができたと読み取れました。アンケート結果を踏まえて、来年度の授業の組み立てを考えていこうと思います。
135	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	堀崎 大輔	全体的には満足という結果を頂いているが、授業理解に関連する項目で改善点が見られた。来年度以降は、理解度を確認しながらカリキュラムを進める。
136	社会科・公民科教育法Ⅰ	松下 守邦	本科目は中学社会科や高校公民科の教育法を学ぶ授業です。前期は公民教育の理論や学習指導要領に基づく特色、現場の指導法を確認しました。2025年度は必修科目「公共」を中心に授業づくりを検討し、現役生徒のための参考書や問題集も紹介しました。社会科の教科書に示される学習用語と説明記述の関係は、数学における公式と証明にたとえることができます。後半の学習指導案や模擬授業実践に向け、授業改善を引き続き進めてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。
137	美術科教育法Ⅰ	竹内 美帆	アンケートの各項目については、「とても適切だった」という回答をいただいたので、授業の目的は達成できたと思われる。実習や公欠、電車の遅延等で欠席せざるを得ない学生への対応を、もっと細やかにしていく必要性を感じる。具体的には、オンラインでの資料の共有や、録画の配信などである。来年度の授業ではその点を改善していきたい。
138	工芸科教育法Ⅰ	三上 いずみ	アンケート回答率が半数以下であったことは、授業の質や学生の関心の反映と受け止めています。今後はより多くの学生が安心して意見を共有できるよう、授業内容や進行方法の改善に努め、授業の質向上に善処してまいります
139	保健体育科教育法Ⅰ	高井 雅一	前半は、講義中心の授業展開であったが、後半は、グループ又はペアでの共同作業を多く取り入れ、パソコンを活用した授業であり、好評であった。来年に向け、一層の改善を図り、授業を進めていきたい。